



# 高校生支援の 現場から

---

ソーシャルワーカー事務所  
SURVIVE 代表  
美濃屋 裕子

\*無断転載禁止\*

# 自己紹介：美濃屋 裕子（みのや ゆうこ）

- 1982年生まれ（キレる17歳世代／就職氷河期世代末期）
- 広島県出身／臨床心理学科卒／東京都在住
- 社会福祉士・公認心理師・高等学校教諭・教育カウンセラーほか
- 民間企業勤務（営業、商品企画）・児童福祉施設・若者サポートステーション相談員、よこはまユースプラザ支援員、横浜市寄り添い型学習支援、義務教育スクールソーシャルワーカー等経験
- 神奈川県立高校スクールソーシャルワーカー
- 一社）ファースト・ステップ（民間DVシェルター・フードバンクかわさき事業） 副代表理事
- ソーシャルワーカー事務所SURVIVE 代表ソーシャルワーカー
- 高校非常勤講師（科目「社会福祉基礎」担当）

その他 全国の教育委員会や児童相談所の電話相談業務（教育相談・養育相談）などにも従事

# 全国一斉休校の流れ

- 2020年3月2日～2020年6月頃まで（部分登校などを通して、段階的に解除）
- 当初は春休み期間までであったが、緊急事態宣言により延長
- 2月27日の突然の首相の表明 ⇒ 学校は準備期間なし
- 高リスクの生徒、家庭への対応ができないまま、一斉休校へ
  - 担任による定期的な電話訪問
  - メールやGoogleClassroomを使った相談窓口設置
  - スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーによるオンライン面談
  - オンライン授業開始
- 緊急事態宣言以降、多くの自治体が福祉系窓口も含めて、在宅勤務へ
- 子ども食堂など、多くの地域の居場所も休止へ



# 休校期間中に、家庭で起きていたこと

- 休校と前後する時期から、保護者が在宅ワークへ
- 飲食・小売店勤務、自営業の保護者の収入が激減
  - 生徒・学生のアルバイトも激減
- 祖父母や障害のある家族の介護サービスも休止
- 家庭内学習の負担（保護者にもストレス）
- 家庭内の不安やストレス増大。
- 外出禁止で距離を置くことができない！
- DV（面前DV）、虐待、子による家庭内暴力の増加
- うつ病など精神疾患の発症、症状の憎悪、ゲーム依存、
- 学校よりも家がつらい、学校も家もつらい生徒へのフォローがほとんどない
- 家出・徘徊する生徒も……よからぬ大人、反社が受け皿になるケースも…

## 「子育て四訓」

乳児はしっかり肌を離すな  
幼児は肌を離せ、手を離すな  
少年は手を離せ、目を離すな  
青年は目を離せ、心を離すな

全ての家庭が  
高リスク化



# 休校中、家庭が変わった二つの事例から

※事例は事実を元にしたフィクションです

2月父が在宅  
3月長男長女休校

- A家・B家共に家族構成は同じ、経済水準なども同等
- 父（会社員/管理職）、母（パート主婦）、長男（高2）、長女（小6）
- 長男は中堅公立高校の2年生。学校でも家でも寡黙。友人は少ない。趣味のオンラインゲームに熱中。家族で一番話すのは母だが、反抗的態度
- 一斉休校が終わって…

3月下旬ごろ  
ゲーム依存気味に

**A家**  
長男による家庭内暴力が常態化。学校再開後も昼夜逆転で不登校気味。長女の不定愁訴あり。

**B家**  
父が長男に対するキーパーソンに。母いわく「今、家族が一番いい状態」夏休み、父子でオープンキャンパスへ

4月オンライン授業始まるが…



ビフォアコロナ状態の維持・回復ではなく、ウィズコロナの家庭のあり方をどう描くか家庭における父親が変化のキーパーソン？



# 再開後の学校の様子：混乱と限界のセンセイ達

- 37.5度以上の発熱は欠席に。登校に不安がある場合は「出席停止」扱い
- 登校時の検温、消毒チェック、授業前後の消毒作業
- 教科学習の遅れを取り戻すための大幅な授業計画の修正
- GoogleClassroomの活用圧（歓迎する先生、しんどい先生）
- 陽性者が出るたびに臨時休校 ⇒ さきがよめない
- 修学旅行などの校外学習、文化祭・運動会などは中止・制限
- 家庭科の調理実習など一部の実習系授業は中止・制限
- 何かをする・しないたびに生徒・保護者から不満や感染不安
- 大学などの入試の大幅な変更への対応、高卒就職活動は1か月後ろ倒し

対応  
増加！！



会議 &  
会議

# 再開後の生徒の様子



- 高校生の自殺率が激増 特に女子は2倍へ ⇒学校再開前後が特に高い
  - 未遂はその10倍を推定、希死念慮はさらに多い ⇒社会的な相談の受け皿は「あふれている」状況
  - 大手メディア、ネットメディアにおける芸能人の自殺の過剰報道の影響は？
  - 5月下旬女性タレント、7月下旬人気俳優、9月中旬人気女優、9月下旬人気女優 ⇒常に関連報道がスマホに
- 虐待被害、家庭内暴力、デートDV、妊娠相談⇒学校のキャッチには時差あり
- 不登校問題 ⇒学校不適応傾向があった生徒の顕在化、ウィズコロナ下の復帰戦略が皆無
- アルバイト収入が激減したことによる生活苦・進路不安
- 外国に繋がる生徒はビザに関する問題が浮上することも
- 学校生活における生徒間のトラブルが増加
  - さまざまな不安やストレス、情緒不安
  - マスクがコミュニケーションに与えた弊害



# 高校生の進路の問題

- 進路を断念ないしは見直さないといけない生徒が
  - さまざまな支援制度はあるものの……
  - 保護者は「就職氷河期世代」⇒貸与型奨学金への不安が大きい
  - オンライン中心になった大学・専門へ進むことへの不安
  - 生活保護世帯の高校生は浪人は認められない
- 就職希望の生徒にも大きなしわ寄せが
  - もともと高卒就職は消極的理由によるものが多い現状
  - 求人数が激減 ⇒学校就職における一社制限の賛否
  - 困難を抱える若者を支援していた民間企業が撤退……
  - 独り暮らしをすることが機能不全の家庭、生きづらい地域から脱出する術
  - 外国籍生徒にとっては、ビザに関わる大問題



コロナ禍をきっかけに、高校生・若者への進路支援を公助ベースで見直していこう！！

駆け足でしたがご清聴ありがとうございます  
ございました！  
続きは後半で語り合いましょう！